令和７年度　評価技術講習会
ー見て学ぶ材料分析の基礎ー
第１回 材料組成分析（走査電子顕微鏡観察）

（地独）京都市産業技術研究所では、地域の特色をいかした産学官連携拠点である京都バイオ計測センターと連携して、地域企業の技術者や大学研究者等が材料分析の基礎を学べる講習会を下記のとおり開催いたします。材料分析は、製品開発、品質管理、不具合改善など、ものづくりの様々な場面の課題解決に活用される評価技術です。本講習会では、「測定データの見方」など基礎的な事例紹介と共に、先進機器などによるデモ測定を行いながら分かりやすく解説します。

第１回は、材料組成分析シリーズの「走査電子顕微鏡観察」です。

本講習会の受講を機に、弊所が保有する機器と技術を積極的にご活用いただくよう、お願いいたします。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日　　時　令和７年６月25日(水)　14：00 ～ 16：00

【講義】14：00 ～ 14：45　　【実習】15：00 ～ 16：00

※講義のみハイブリッド形式（Zoom）

会　　場　（地独）京都市産業技術研究所

（〒600-8815　京都市下京区中堂寺粟田町91 京都リサーチパーク９号館南棟）

【講義】５階講義室Ｂ　及び　Web 形式（Zoom）

【実習】１階迅速分析評価室Ａ

内　　容　令和７年度　評価技術講習会　ー見て学ぶ材料分析の基礎ー

第１回：材料組成分析（走査電子顕微鏡観察）

【講義】走査電子顕微鏡観察の基礎

【実習】走査電子顕微鏡観察の試料準備、デモ測定、測定データの解析など

講師：（地独）京都市産業技術研究所　材料・素材技術グループ　小濱　和之

＜走査電子顕微鏡＞

走査電子顕微鏡は、光より波長の短い電子線を用いることで、光学顕微鏡では観察できない微細な構造を観察できることから、機械部品や電子部品、繊維材料など幅広い試料の測定に利用されています。また、装備しているエネルギー分散型Ｘ線分析装置（EDX）により、どのような元素が含まれ、その元素がどう分布しているのかを評価することができます。

日立ハイテクノロジーズ
TM3030Plus

対　　象　・企業技術者、大学の研究者など機器を用いた材料分析法を基礎から学びたい方
・分析は外部委託しているが、測定原理から学びたい方
・測定経験はあるが、試料前処理及び測定などを再確認したい方　など

定　　員　・対面形式（講義及び実習）：7名
・Web形式（講義のみ）：50名程度
※対面形式は1社1名、応募多数の場合は抽選
※抽選の場合、京都市産業技術研究所ユーザーズコミュニティ参画企業・団体及び京都市域企業・団体等優先

参 加 費　無料

参加申込フォーム

募集期間　令和7年5月23日(金) ～ 令和7年6月13日(金)

申込方法　（地独）京都市産業技術研究所の参加申込フォームからお申し込みください。
参加申込フォーム：https://tc-kyoto.or.jp/page-15592/
令和7年6月19日(木)までに、登録メールアドレスに結果をお知らせします。

主　　催　(地独)京都市産業技術研究所

問合せ先　(地独)京都市産業技術研究所
担当：製品化・人材育成支援グループ　南・島村、経営企画室　岡野
産技研：評価技術講習会ページ：https://tc-kyoto.or.jp/hyokagijutukoshu/
TEL：075-326-6100（代）、E-mail：kikiseminar（ato）tc-kyoto.or.jp
※メールをお送りいただく際は、（ato）を@に変えてください。

開催にあたっての注意事項

・インターネット環境、動画視聴環境、パソコン等の設定方法につきましては、システム、OSごとに異なりますので、事前にご確認をお願いします。
・申し込みされた方に、連絡事項、視聴用の招待URL等をメールにてご連絡いたします。講演会開催日時に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。なお、迷惑メール対策やドメイン指定受信等を設定している方は、連絡事項、招待メール等が受信されますよう、tc-kyoto.or.jpの登録をお願いいたします。
・申し込みされた方の確認のため、Zoom接続時には必ず申込み時の接続時の名前をご使用ください。また、本セミナーは、ウェビナー機能を利用しませんので、接続時の名前がZoom上に表示されます。あらかじめご了承ください。
・本講演会で使用される資料や配信動画は著作物であり、録音・録画・複写・転載・配布・上映・販売等を禁止します。
・会場へのアクセスは、右地図及び産技研アクセスページをご参照ください。
産技研アクセスページ：https://tc-kyoto.or.jp/aboutus/#access